

清水港の歴史から見る  
日本とアジア

～今後の地域史研究の課題～

グローバル地域センターでは、「21世紀アジアのグローバル・ネットワーク構築と静岡県の新たな役割」に関する調査研究事業の一環として、平成31年2月から「清水港の歴史をつなぐ懇話会」を実施し、我が国における海運・物流の拠点として長い歴史を有している清水港について、清水港の地域、郷土の歴史から経済、社会、文化にまたがる横断的な研究を進めてまいりました。

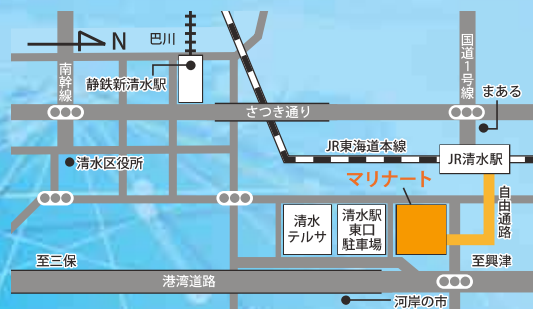
今回、本懇話会の研究成果を地域の皆さまに還元し、次世代の清水の歴史研究につなげるべく、シンポジウムを開催します。

開催  
日時令和4年8月23日(火)  
13:00~16:20(12:30開場)

会場開催の御案内 (定員:100名)

●会場：清水文化会館 マリナート(小ホール)

〒424-0823 静岡市清水区島崎町214

【アクセス】JR清水駅東口より徒歩3分(清水駅自由通路直結)  
静岡鉄道新清水駅より徒歩10分

●申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからもお申込みいただけます。



●申込期限

令和4年8月19日(金) 17:00

オンライン配信の御案内 (定員:100名)

●申込方法

下記URLまたは二次元コードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法を御案内します。(ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を使用します)



グローバル地域センター

検索

https://www.global-center.jp

●申込期限

令和4年8月22日(月)

## プログラム (敬称略)

## 開会あいさつ・趣旨説明

- 静岡県立大学グローバル地域センター センター長 濱下 武志

## 講演1 「清水湊の歴史と社会」

- 戦国時代終わりから江戸初めの清水湊とその周辺  
(フェルケール博物館学芸部長 橋原 靖弘)
- 清水湊と安政の大地震  
(静岡県朝鮮通信使研究会 北村 欽哉)

## 講演2 「海洋から見る清水港の歴史」

- 近代における清水港の開港運動  
(静岡県立大学グローバル地域センター特任助教 粟倉 大輔)
- 清水港海図に描かれた巨樹から見た山と海の民の交わり  
(海上保安庁(元清水海上保安部長) 田中 裕二)
- 清水港修築工事と海苔生産者の動向について  
(郷土史家 渡邊 康弘)

## パネルディスカッション

## 「清水地方史研究のこれからの100年～資料・テーマ・次代育成～」

- モデレーター 郷土史家 渡邊 康弘
- パネリスト 清水郷土史研究会 望月 憲一  
IT企業投資部門所属 谷口 洋斗  
静岡大学人文社会科学部教授・地域創造学環副担当 小二田 誠二  
豊橋市図書館学芸員 岡村 龍男

参加料  
無料

要・事前申込



# 清水港の歴史から見る日本とアジア



**濱下 武志** (はました たけし)  
●静岡県立大学グローバル地域センター長  
静岡市出身。東京大学東洋文化研究所所長・教授、中山大學(中国)アジア太平洋学院院長などを歴任。中国社会経済史、東アジア経済史、東アジア華僑華人史などの歴史学を専攻。著書に、『近代中国の国際的契機—朝貢貿易システムと近代アジア』(アジア太平洋賞・大賞)ほか。



**渡邊 康弘** (わたなべ やすひろ)  
●郷土史家  
昭和29年、静岡県沼津市に生まれる。早稲田大学大学院で考古学を専攻。合併前の清水市に就職し、文化財の保護を担当。平成26年3月に静岡市を定年退職。



**椿原 靖弘** (ちんばら やすひろ)  
●フェルケール博物館 学芸部長  
明治大学文学部卒業、藤枝市に学芸員採用される。2011年、財団法人清水港湾博物館(フェルケール博物館)学芸部長となり現職、伊豆屋伝八文化振興財団理事、常葉大学非常勤講師等



**望月 憲一** (もちつき けんいち)  
●清水郷土史研究会  
1937年甲府市生まれ。鈴与(株)藤枝支店長、ミス運輸社長、鈴与ガスあんしんネット常務取締役を歴任。元静岡県文化財保存協会常任理事、元清水郷土史研究会副会長。現在清水湊関係古文書の解説に取組中



**北村 欽哉** (きたむら きんや)  
●静岡県朝鮮通信使研究会  
静岡市清水区生まれ。東京教育大学文学部史学科日本史学専攻卒。静岡県立高校教員となり、平成13年退職。「清水湊の成立期」と、「朝鮮通信使と静岡県との関係」を中心に調査・研究を行う。著作に『寺子屋で学んだ朝鮮通信使』



**谷口 洋斗** (たにぐち ひろと)  
●IT企業投資部門所属  
慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学(2019年)、日本学術振興会特別研究員(DC2)を経て大手IT企業でM&A・ベンチャー投資に携わる。博士(経済学)。



**栗倉 大輔** (あわくら だいすけ)  
●静岡県立大学グローバル地域センター 特任助教 ●帝京大学経済学部 講師  
清水区出身。中央大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。専攻は日本経済史、日本産業史。茶業史に関係する資料の収集・保存活動に積極的に取り組んでいる。著書に『日本茶の近代史—幕末開港から明治後期まで—』(蒼天社出版、第28回茶道文化学術奨励賞受賞作)。



**小二田 誠二** (こにた せいじ)  
●静岡大学人文社会科学部教授・地域創造学環副担当  
日本文化を専門とし、4半世紀以上静岡の社会とつきあう。フィールドワークを含む地域学の授業を担当するほか、学外と連携して産業・文化遺産の記録・発信活動を続けている。



**田中 裕二** (たなか ゆうじ)  
●海上保安庁(元清水海上保安部長)  
1968年生まれ。大阪府堺市出身。1992年に海上保安大学校を卒業後、巡視船艇勤務と陸上勤務を繰り返し、2018年から2年間清水海上保安部長を務めた。船乗りとしての勤務経験から海からの視点を大切にしており、歴史研究に海図の視点を取り入れて分析している。



**岡村 龍男** (おかむら たつお)  
●豊橋市図書館学芸員・NPO法人歴史資料継承機構理事  
1984年静岡市生まれ。駒澤大学大学院博士後期課程単位取得退学。県内外で歴史資料の調査保存活動を行っている。専門は日本近世史。著書に『渋沢栄一と静岡(2021)』。



## シンポジウム 清水港の歴史から見る日本とアジア (8月23日)

会場参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、8月19日(金)17:00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX: 054-245-5603

●TEL: 054-245-5600 ●https://www.global-center.jp  
●E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ氏名			
会社・団体名			
御住所	〒	TEL:	FAX:
	ご勤務先		ご自宅 ○をお付けください。
Eメールアドレス			
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する	希望しない	

\*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

\*新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用、入館時の検温に御協力ください。

\*新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止、又は会場定員を減らしての開催となる場合があります。